

校長室だより

令和6年9月 6日(金)
第 18 号
十日町市立中条中学校校長室

新潟県が進める「社会性の育成」

2学期が始まり1週間が過ぎました。明日は体育祭が予定されています。今のところ、天候にも恵まれ予定通り実施できそうです。

体育祭などの行事の場面では、自己有用感を高めるチャンスです。「自己有用感」は、県が推進する「社会性」の一つです。県の教育振興基本計画にも盛り込まれており、県内のすべての学校で取り組まなければなりません。特に当校のような小規模校では、関わる人間が固定的になりがちで、様々な取組を通して「社会性の育成」を推進することが、大きな教育課題の一つだと考えています。今回は「社会性」について考えてみます。

「新潟県教育振興基本計画」の基本方針Ⅲ「児童生徒が安全に安心して学べる学校づくり」の「1 いじめ防止等の取組」の中で以下のように述べられています。

現状と課題

いじめをはじめとする生徒指導上の諸問題の背景の一つには、児童生徒の**社会性の欠如**があるとされています。本県においては、児童生徒に身に付けてもらいたい**社会性**として

「自己有用感」
「人間関係づくりの能力」
「規範意識」
「困難に対して、他者と協力しながら問題解決を図る意欲や態度」



を掲げています。教育活動全体を通じて児童生徒の社会性を育成するとともに、家庭や地域との連携を強化し、いじめをしない、見逃さない、許さない意識の醸成に努める必要があります。

県が示す具体的な取組として

＜主として学校で取り組むこと＞

- 小中学校の9年間を見通して社会性をはぐくむ教育を行います。
 - ・ 発達段階に応じた社会的スキルの育成
 - ・ 豊かな体験活動、異年齢の交流の実施
 - ・ かかわり合って学ぶ授業づくり など
- 「いじめ見逃しゼロスクール運動」を柱に、いじめのない学校づくりを進めます。
- 不登校にならないよう、欠席初期（1日目・2日目・3日目）の対応を大切にし、「子どもと共に1・2・3運動」を行います。



＜主として学校・家庭・地域社会が連携して取り組むこと＞

- ふれあいを通して、仲間や家族、地域との絆を深める活動を実践します。
 - ・ 学校に通う人やそれ以外の多くの人とあいさつを交わす（あいさつ運動）
 - ・ お客様に対する案内や困っている人を手伝う（ボランティア体験）
 - ・ お年寄りなどから昔の暮らしの様子を教えてもらう（世代間の交流）
 - ・ 家族が今まで以上に会話を増やす（ノベルビ・ノゲームデー、家族そろって夕食デー）
 - ・ 家族が一緒に新しいことに挑戦する（健康づくり、家族チャレンジデー）
 - ・ 暮らしやすい地域をつくる（美化・栽培活動）

これらの取組は、学校での取組とともに家庭や地域との取組が重要です。たとえば、異年齢交流や地域とのふれあいの観点から、体育祭における地域連携種目はとても大切な場面です。

自己有用感と当校の社会性育成の実態

4つの社会性はどれも大切ですが、今回は「自己有用感」について説明します。

「自己有用感」と「自己肯定感＝自尊感情」について

平成27年3月に国立教育政策研究所から発行された「生徒指導リーフ」の『自尊感情』？それとも『自己有用感』の中に以下のように説明されています。

「自己有用感」とは、他の人の役に立った、喜んでもらえたなど、自分と他者（集団や社会）との関係を肯定的に受け入れることで生まれる評価です。

「自尊感情」とは、Self-Esteemの訳語であり、自己に対して肯定的な評価を抱いている状態、自分自身を価値ある存在として捉える感覚です。「自己肯定感」とも呼ばれます。

人の役に立った、人から感謝された、人から認められた、という「自己有用感」は、自分と他者（集団や社会）との関係を自他共に肯定的に受け入れられることで生まれる、自己に対する肯定的な評価だからです。

○日本の児童生徒の場合には、他者からの評価が大きく影響する。

○「褒めて（自信を持たせて）育てる」という発想よりも、「認められて（自信を持って）育つ」という発想の方が、子どもの自信が持続しやすい。

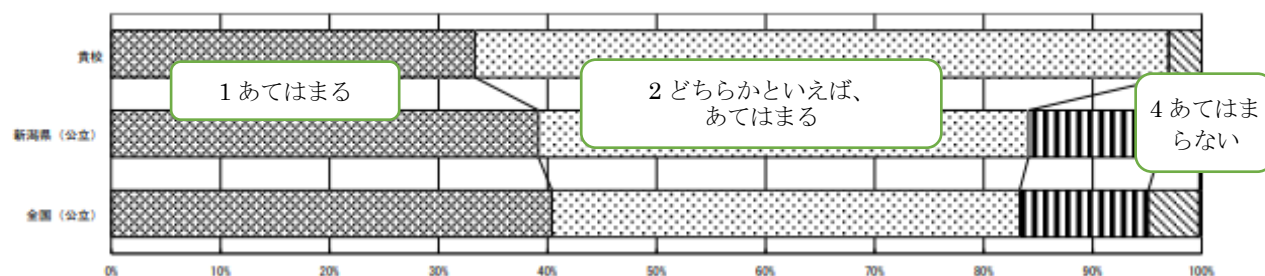
「自己有用感」は「他者からの評価が大きく影響する」点がポイントです。生徒にも教職員にも、「よい面を認めていきましょう」と言うてはいますが、普段の学校内の限られた人間関係の中では、評価される場面が少ないと思われます。学校行事はよいところを見つけ合う絶好の機会です。また、社会性の育成、特に自己有用感については、いかに生徒が様々な人と関わる場面を作り、普段接する機会の少ない人から評価してもらうことが大きく影響すると言われています。小中連携や家庭や地域との関わりが大切な場面です。



当校の社会性の実態について

全国学力・学習状況調査の生徒質問紙調査に社会性の中の自己有用感の実態を見る質問「自分には、よいところがあると思いますか」の項目があります。 ※令和6年度調査結果

質問番号	質問事項											
(9)	自分には、よいところがあると思いますか											
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	その他	無回答
貴校	33.3	63.6	0.0	3.0							0.0	0.0
新潟県（公立）	39.2	45.0	11.9	3.8							0.0	0.2
全国（公立）	40.4	42.9	11.8	4.7							0.0	0.2



この質問の肯定的な回答の結果から、当校生徒の「自己有用感」の肯定的評価は、96.9%で、全国平均、県平均よりかなり高いことが分かります。とても良いことです。一方、「あてはまらない」と答えた生徒が3%いることを見過ごしてはなりません。様々な取組を継続し、一層、自己有用感及び社会性の育成に努めてまいります。